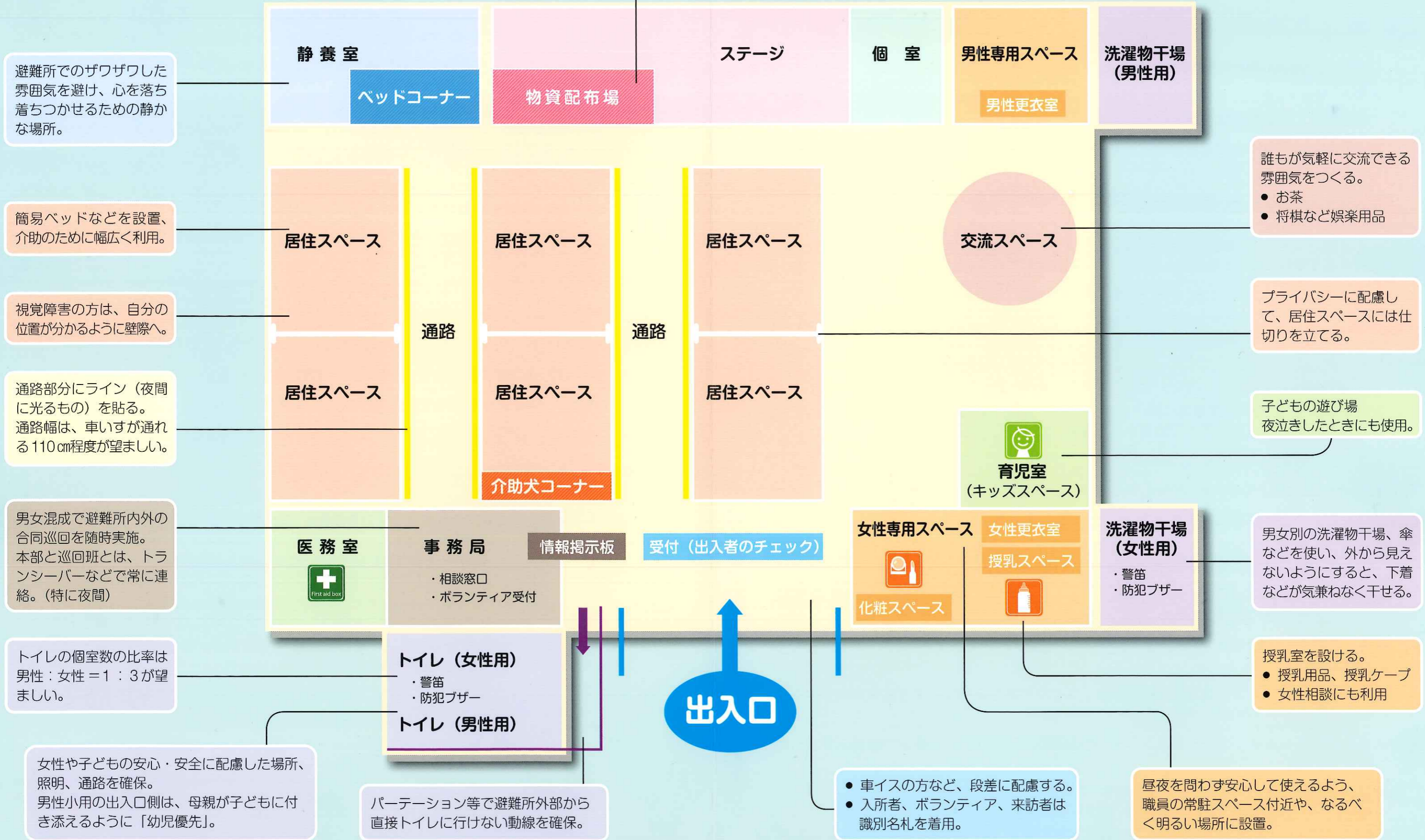


【図面編：体育館などを利用した避難所の設営例】

男女のニーズの違いなど、様々な立場の人たちへの配慮が必要です。
「チェックシート編」と合わせて活用してください。



下着などは同性が配布
(またはそれぞれの専用スペースで)

避難所でのザワザワした雰囲気避け、心を落ち着かせるための静かな場所。

簡易ベッドなどを設置、介助のために幅広く利用。

視覚障害の方は、自分の位置が分かるように壁際へ。

通路部分にライン (夜間に光るもの) を貼る。
通路幅は、車いすが通れる110cm程度が望ましい。

男女混成で避難所内外の合同巡回を随時実施。
本部と巡回班とは、トランシーバーなどで常に連絡。(特に夜間)

トイレの個室数の比率は男性：女性 = 1 : 3が望ましい。

女性や子どもの安心・安全に配慮した場所、照明、通路を確保。
男性小用の出入口側は、母親が子どもに付き添えるように「幼児優先」。

パーテーション等で避難所外部から直接トイレに行けない動線を確保。

● 車イスの方など、段差に配慮する。
● 入所者、ボランティア、来訪者は識別名札を着用。

昼夜を問わず安心して使えるよう、職員の常駐スペース付近や、なるべく明るい場所に設置。

誰もが気軽に交流できる雰囲気をつくる。
● お茶
● 将棋など娯楽用品

プライバシーに配慮して、居住スペースには仕切りを立てる。

子どもの遊び場
夜泣きしたときにも使用。

男女別の洗濯物干場、傘などを使い、外から見えないようにすると、下着などが気兼ねなく干せる。

授乳室を設ける。
● 授乳用品、授乳ケープ
● 女性相談にも利用